

教育社会学研究室（渡部晃正先生）

▶どのような研究に取り組んでいるのですか？

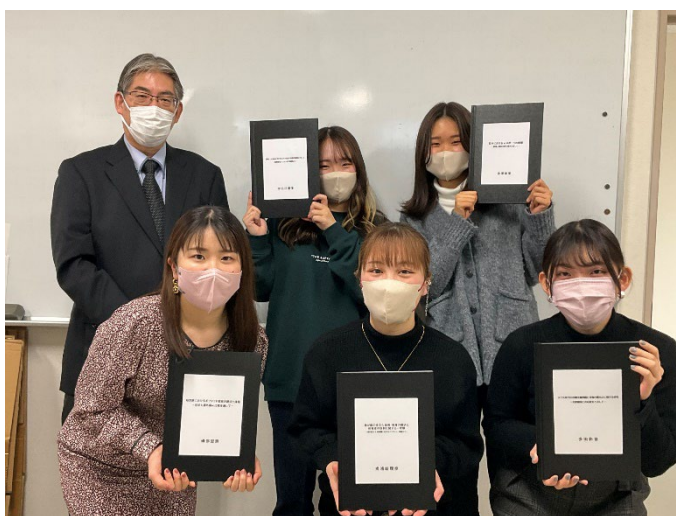
教育の社会的・制度的側面について研究をしてきました。現在、就学前（小学校に入学する前）の多文化保育・教育に関心を持っています。国内では外国にルーツをもつ子どもの保育・教育、海外では日本人在外子女の保育・教育に関する調査を継続しています。

▶どのような授業を担当しているのですか？

必修科目の教育原論、教育・保育制度論、保育方法論（共担）を担当しています。これらは保育者として必要な基礎理論に関する科目となります。教育・保育に関する基礎的な事項について学ぶとともに、今日的な課題にも取り組んでいきます。また、選択科目の特別演習A（多文化の暮らしと子育て）では、外国にルーツをもつ子どもと保護者に対する支援の方法について実践的に学び、国際化が進む保育の現場で必要とされるスキルの獲得を目指しています。

▶ゼミ（4年次）のことについて教えてください。

卒業研究では、論文を執筆していただきます。テーマを決め、丁寧に調べ（各種調査を実施し）、分析・考察して論文をまとめあげていきます。渡部ゼミでは、海外の保育や多文化保育を研究テーマに選ぶ方がおり、そのなかには国内の公・私立保育園・幼稚園のみならず、海外の日系幼稚園等で活躍している方もいます。なお、他の卒業研究のテーマとしては、アニメーション（ディズニー作品、ジブリ作品、プリキュアシリーズなど）、テーマパーク（TDR、キッザニア、レゴランドなど）、子育てカフェ、eスポーツ、ICT活用などがあります。このようなゼミ生のさまざまな興味関心に対応しつつ、児童学の考え方を応用しながら研究指導にあたっています。



完成した卒論を手にしたのゼミ記念写真